

< 学校教育目標及び経営方針 >

～夢に向かい、つながりの中で主体的に生きていこうとする子をめざして～

夢に向かって
輝く、竹田っ子

令和6年度

< めざす学校像 >

- ・子どもにとって、生き生きのびのびと学習活動ができる学校
- ・保護者や地域の方にとって、信頼と安心のできる学校
- ・教職員にとって、やりがいをもって教育活動ができる学校

重点課題

- 授業改善と情報活用能力の育成
- 仲間を思いやり、正しい知識を身に付け、正しく判断し行動できる力の育成
- 生活（体力）習慣の確立と情報モラル教育の充実

< めざす教職員像 >

- ・子ども一人一人を大切にし、子どもと共に伸びる教職員
- ・子ども、保護者、地域から信頼される教職員
- ・絶えず研修に努め、実践力のある教職員

< めざす子ども像 >

【学力・習慣】 自分を大切にできる子【仲間づくり】 他とのつながりを大切にできる子

人権教育部

取組の重点

研究：確かな学力を身につけた子どもの育成（学力向上）
 人指：豊かな人間関係を築ける子どもの育成（人権意識）
 生指：目標に向かって努力する子どもの育成（生活習慣）

人権指導部

人権指導目標『教職員同士の人権意識を高め、
 心豊かによりよい人間関係を築ける子を育む』

< めざす子ども像 > ・自分や友達のよさやちがいを認め合える子
 ・正しい知識を身に付け、正しく判断し行動できる子

○キズナ学習（人権学習）

- ・男女平等にかかわる課題について
- ・障害のある人にかかわる課題について
- ・外国の人にかかわる課題について
- ・生命健康にかかわる課題について
- ・情報モラルにかかわる課題について
- ・さまざまな人権にかかわる課題について
- ・将来展望について

○社会科・道徳・総合的な学習の時間・学校行事等を通して、いじめや人権にかかわる学習を行う。

豊かな心の育成

- 総合育成支援部との連携
- ・LD等教育支援
- ・交流教育
- ・育成教育

研究部

研究主題『つながりを大事にし、生き生きと伝え合い「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を大切にした授業』～言語活動の充実を目指して～

< めざす子ども像 >

- 低)・文の中における主語と述語の関係に気付き、同じところや違うところ、事柄の順序など、情報と情報との関係について理解できる子
- ・「読むこと」において時間的な順序などを考えながら内容の代替を捉え文章の中の重要な語や文を見つけられる子
- ・学習課題に沿って、文章の中で大事な言葉を押さえながら粘り強く読み、分かったことを伝えようとする子
- 中)・日常生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、情報と情報の関係を比較したり分類したりできる子
- ・人との関わりの中で、既習の内容や生活体験を基に伝え合ったり、自分の思いや考えをまとめることができる子
- ・自分の思いや考えを伝え合い、主体的に問題解決しようとする子
- 高)・日常生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、基礎的資料を通し、情報を適切に調べ、まとめることができる子
- ・人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深め広げることができる子
- ・言葉を通じて、積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしたことを社会生活に生かそうとする子
- 育)・活動や体験を通して自分自身や身の回りのものとの関わりに気づき、日常生活に必要な言葉を身に付けている子
- ・身の回りのことと自分との関わりについて考えて言葉で伝える活動を通して考えや思いを表現することができる子
- ・身の回りのことに関心をもち、意欲をもって学んだり、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする子

確かな学力の育成

・つながりを大事にした学級経営

- ・「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を大切にした授業
- ・毎日の家庭学習、自学自習の習慣化
- ・読書活動の充実

《知》

生活指導部

指導方針『一人一人の子どもと

徹底的に向き合う生活指導（児童理解）』

< めざす子ども像 >

- ・基本的な生活習慣を確立する子ども
- ・当たり前のことを当たり前に行える子ども

健やかな体の育成

（児童理解を基盤とした学級経営）

- ・みそあじ運動（みじたく、そうじ、あいさつ、じかん）の徹底
- ・学習計画表の活用
- ・学校のきまりについての共通理解
- ・食（給食）に関する指導
- ・教育環境の整備
- ・保護者や地域の方との連携
- ・問題行動（いじめ等の防止、早期の発見・対応）

《体》

子どもの状況を把握し、子どもに届く教育活動の実践

< 学年・学級経営 >